



学校だより

大田区立大森第七中学校
校長 増元 啓 彰

令和3年9月6日（月）発行

「不安」と「感動」

感染症拡大に伴い、誰もが感染してしまうのではないかという不安。いつになったら解消されるのでしょうか。各地で2学期の授業開始に向けて、様々な対応が報道されています。大田区でも、第一週についての対応が教育委員会から配信されました。それを受けて、本校では、始業式前に「健康チェック」を昇降口（1階ホール）で行いました。一人一人の検温は当然のことですが、御家族の方の発熱状況と体調について確認をさせていただきました。1学期は、学級をまとめて検温状況を記録しましたが、2学期からは生徒一人一人の「個票」（R2年度と同様）に戻して対応します。生徒にとっては、対応が増えてしましますが、御理解を頂き、御家庭でも御協力をお願いいたします。

この夏は、「TOKYO 2020 オリンピック・パラリンピック」が開催されました。実際に会場で観戦することはできませんでしたが、各種報道を通じて、感動を味わうことができました。そこにはメダルを獲得するだけではなく様々なドラマがありました。インタビューではほとんどの選手が、「感謝」の気持ちを表していました。多くの人々の協力と理解がなければ開催できなかったことを選手の皆さんが心から感じていたからでしょう。私たちは、このような状況の中で頑張っている選手達から、努力することの素晴らしさを感じ、多くの感動を味わうことができました。生徒の皆さんもぜひ「やりたいこと」、「興味があること」に向かって何かをつかみ取ってほしい、と願っています。

さて、2学期が始まりました。1年生は「車山移動教室」、2年生は「職場体験」に向けての活動が多くなります。実施につきましては、今後の感染状況によって対応を変更する場合がありますことを御了承ください。3年生は、自身の進路決定に向けての取り組みが本格的になります。学校訪問が思うようにできないこともあります。様々な方法を使って情報収集を行ってください。

それでは、2学期も頑張って取り組んでいきましょう。

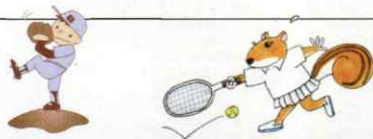
9月の予定

日	曜	行事予定
6	月	都学力向上調査始
7	火	専門委員会
8	水	特別時程 水曜補習 ★
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	生徒会朝礼・区陸壮行会
14	火	試験1週間前 都学力向上調査終
15	水	水曜補習
16	木	
17	金	大田区中学校陸上選手権大会
18	土	
19	日	
20	月	敬老の日
21	火	定期考査Ⅱ
22	水	定期考査Ⅱ
23	木	秋分の日
24	金	特別時程 ★
25	土	土曜授業日スピーキングテスト(3) ③移動教室事前指導(1) ★
26	日	
27	月	車山移動教室(1) 3年復習確認テスト②～⑥
28	火	車山移動教室(1) 職場体験(2)
29	水	職場体験(2) 水曜補習
30	木	職場体験(2)
1	金	都民の日 特別時程 英検(3年全員+希望者) 4カット
2	土	
3	日	

★・・・部活動再登校



夏休み中の部活動



今年の夏休みは去年と違い、通常の夏季休業となりました。夏休みを皆さんはどのように過ごしましたか？9月1日の登校の様子はとても明るく元気で、また学校に入る前の検温や手指消毒など、どの生徒もきちんとい、さすが七中生！と思わせてくれる光景でした。

夏休み中の部活動は、一部中止になったり、形態を変えたりと対応がなかなか大変だったと思いますが、それぞれに工夫をし、準備をし、練習や大会に臨みました。以下、各部活動の夏休み中の活動の様子をお伝えします。



吹奏楽コンクールの様子



陸上競技	今後の大会に向けて練習	吹奏楽	東京都中学校吹奏楽コンクールB組出場 銀賞受賞
サッカー	新人大会に向けて練習	女子バレーボール	シード権大会にて2勝その後、大会中止
野球	シード権大会に出場	女子バドミントン	新人大会に向けて練習
男子ハンドボール	新人大会に向けて練習	アート	人権・薬物防止等各種ポスター作成（一部コンクール出展）
女子ソフトテニス	新人大会に向けて練習	ハンドメイド	コロナ対策をしてテイクアウトの調理実習を3回実施
男子バスケットボール	新人大会に向けて練習	男子バレーボール	新人大会に向けて練習・練習試合
女子バスケットボール	新人大会に向けて練習	演劇	学芸発表会・連合学芸会（英語）に向けて練習
文芸	個人での作品作成		

木村敬一選手、念願の金メダル！！おめでとうございます！！

9月3日、東京パラリンピック水泳男子100mバタフライS11（視覚障がい）で金メダルを獲得した木村敬一選手は、平成29年度、本校のオリパラ教育講演会で「全盲のスイマー」として、御講演くださった方です！9月1日の銀メダルに引き続き、金メダルを獲得しました！本当におめでとうございます！木村選手のの記事を紹介致します。



富田選手

木村選手

「東京パラリンピック・水泳の男子100mバタフライS11（視覚障がい）で、金・銀のワンツーフイニッシュを成し遂げた木村敬一選手（30）と富田宇宙選手（32）が4日、会見で喜びを語りました。過去3大会で銀3つ、銅3つのメダルを手にしてきた木村選手。4大会目の出場にしてつかんだ悲願の金メダルに「100mバタフライで金メダルを獲得するために出場種目も絞った。この5年間は本当に長い日々だった。『この日』のために頑張ってきた。『この日』は本当に来るんだなと思って、今とても幸せな気持ちでいっぱい」と充実感を口にしました。長かったという5年間で1番強くなったのが“心”。「どんな状況でも自信を持ってスタート台に上がって、『自分は負けないんだ』と自分で自分のことを鼓舞してレースに臨む強い精神力が厳しい状況での生活で育った。苦しい時間もたくさんあったと思うけど、それらも全部自分で乗り越えた感じがしている」と成長を振り返りました。また、練習をともにしてきたライバル・富田選手の間も大きかったと話し、「世界中の誰一人にも負けることはできないと信じていて、絶対に負けてはいけない存在であり続けていた。僕は常に高いプレッシャーの中で戦い続けてこられたので、そういったレースを重ねさせてくれた宇宙さんには選手として感謝の気持ちでいっぱいですし、パラリンピックのチャンピオンになるために宇宙さんという競技者はなくてはならない存在だった」と語りました。一方、初出場で3個のメダルを手にした富田選手は木村選手について「ともに頂点を目指した仲間が目標をかなえた、夢を叶えた、それは仲間として本当に誇りに思う」と祝福。さらに「彼がリオで金メダルを逃すところ僕も僕はテレビ越しに見ていて、それがとても悔しかった。僕が同じクラスになってライバルと呼ばれるようになり、一緒にメダルを争う立場になったが、そこでも彼を応援したい気持ちは最後まで消せるものではなかったし、僕が金メダルを取ってやるという思いと、彼に金メダルを取ってほしいと応援する気持ち、それはどうしても僕の中にあるものだった」と心の内を明かしました。（一部略）（yahooニュースから）」

1階ホールに木村選手の直筆サインが展示されています。どうぞ御覧ください！